

# 2025 年度 一般社団法人聖路加看護学会 定時評議員会 議事録

日時：2025 年 6 月 13 日（金）18：00～19：07

場所：（聖路加国際大学）WEB 開催

評議員： 片岡弥恵子（理事長・第 30 回学術大会会長）、林直子（理事）、高橋奈津子（理事）、梅田恵（理事）、飯岡由紀子（理事・第 31 回学術大会会長）、五十嵐ゆかり（理事）、太田喜久子（監事）、大坂和可子、加藤木真史、鈴木久美、鈴木美穂、篠崎克子、高橋恵子、田代順子、田中京子、長谷川真澄、森田夏実

委任状：10 通

指名理事：亀田典宏（会計）、青木裕見（庶務）

報告出席：亀井智子（周年事業委員）、射場典子（選挙管理委員会）

議事録作成者：片岡弥恵子理事長

## 議 題

### 1 理事長挨拶

片岡理事長より、2025 年度定時評議員会開催の挨拶があった。

### 2 出席者数の確認：定款第 21 条 - 2

出席予定の評議員 17 名のうち 16 名が出席しており、委任状 10 名を含め、総評議員の過半数を超えており、定時評議員会を開催できることが確認された。なお、本定時評議員会終了までに、出席予定 17 名全員の参加が確認された。

### 3 議事録署名人の指名：定款第 24 条 - 2

議事録署名人について、評議員からは推薦はなく、片岡理事長より、大坂評議員と加藤木評議員の推薦があり、両名より承諾を得た。

### 4 審議事項

#### 1) 2024 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1

##### (1)理事会報告

片岡理事長より、資料 1・2-4 頁に沿って 2024 年度の理事会が計 7 回、すべてオンラインで開催されたことが報告された。

##### (2)定時評議員会報告

片岡理事長より、資料 1・4 頁に沿って 2024 年 6 月 14 日に 2024 年度定時評議員会が開催されたことが報告された。

##### (3)庶 務（看護系学会等社会保険連合）

五十嵐理事より、資料 1・5 頁に沿って 2024 年度の庶務報告があった。

##### (4)会 計

林理事より、資料 1・6 頁に沿って 2024 年度の会計報告があった。

##### (5)学会誌編集委員会

高橋委員長より、資料 1・7-8 頁に沿って 2024 年度の学会誌編集委員会の事業報告があった。

##### (6)広報委員会

飯岡委員長より、資料 1・8 頁に沿って 2024 年度の広報委員会の事業報告があった。第 69 号について、資料上では 2025 年 5 月末発行予定と記載されているが、実際には 5 月 30 日に発行済みであるとの補足説明があった。

##### (7)学術交流委員会

梅田委員長より、2024 年度の学術交流委員会の事業報告があった。2025 年の学術交流集会も 2024 年度に引き続き「地域包括ケアシステム」をテーマとし、地域において多様な活動に従事する看護師に焦点を当てた内容で、2026 年 1 月～3 月頃の開催を企画中であるとの補足説明があった。

(8)高度実践看護開発検討委員会

柳橋委員長欠席のため、代わって片岡理事長より、資料 1・11 頁に沿って 2024 年度の高度実践看護開発検討委員会の事業報告があった。

(9)選挙管理委員会

射場委員より、資料 1・9 頁に沿って 2024 年度の選挙管理委員会の事業報告があった。

(10)周年事業

亀井委員長より、資料 1・10 頁に沿って 2024 年度の周年事業の事業報告とともに、2025 年 9 月 27 日に開催予定の 30 周年記念行事の概要について説明があった。写真およびメッセージを募集中であり、ニュースレターに掲載された QR コードからの提出について、周知いただきたい旨の案内があった。

(11)第 29 回聖路加看護学会学術大会

野崎真奈美第 29 回学術大会長は欠席のため、代わって片岡理事長より、資料 1・14 頁に沿って第 29 回聖路加看護学会学術大会の報告があった。

(12)第 30 回学術大会進捗報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 2

資料 2 に基づき、片岡理事長（第 30 回学術大会大会長）より、2025 年 9 月 27 日に開催予定の第 30 回学術大会について進捗報告があった。プログラム案に関して、午後のミニ講座について、現時点で 3 つのテーマを企画しており、参加登録人数が増えた場合は、「DNP の未来を切り拓く会」（DNP コース修了生による）を 2 会場に分けて実施することも検討しているとの説明があった。

2) 2024 年度決算および監査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 3-①②③④

林理事より、資料 3-①②③④に沿って、2024 年度の決算報告があった。資料 3-①財産目録の流動資産にある「仮払金」について、2023 年度までは、学術大会準備金 30 万円を普通預金に含めていたが、会計監査の際に分かりにくいとの指摘があった。これを受けて税理士とも相談のうえ、新たに「仮払金」という項目を設け、当該準備金をそこに計上することとしたとの説明があった。

太田監事より、資料 3-④に沿って、監査を実施し、会計書類および事業報告に問題はなく、役員の職務執行についても問題は認められなかったとの報告があった。

【議案承認】

片岡理事長より、2024 年度事業報告について、承認の場合は Zoom のリアクション機能（挙手ボタン）を用いて意思表示を行うよう説明がなされた。評議員全員の挙手が確認され、2024 年度事業報告は承認された。続いて、2024 年度決算および監査報告についても同様の方法で承認の意思確認が行われ、評議員全員の挙手が確認され、承認された。

5 報告事項

1) 2025 年度事業計画および予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 4-①②③

片岡理事長より、資料 4-①に沿って、2025 年度事業計画について説明があった。

林理事より、資料 4-②に沿って、2025 年度予算案について説明があった。

資料 4-②＜収入の部＞1. 会費収入の 5,030,000 円について、2025 年 6 月上旬の書面理事会に提出した 2025 年度予算案では、会費収入を 5,020,000 円と記載していたが、名誉会員数を誤って 1 名多く記載し、それに基づき計算していたことによる金額であったとの説明があった。資料 4-②では、正しい名誉会員数（14 名）に修正の上、再計算後の金額 5,030,000 円が示されているとの説明があった。

2025 年は、30 周年記念行事の開催や新システムの導入など、理事会で承認された新事業が計画されていることから、当初の 2025 年度予算案では当期収支差額が約 150 万円の赤字となっていた。これに対し、理事会において健全な予算へ修正するのが望ましいとの指摘があり、再度、各委員会にて予算案の検討・修正がなされた。その結果、最終的に赤字予算ではあるものの、必要最小限まで抑えた内容となり、この予算案で書面理事会にて承認されたとの説明があった。

2) 2025 年度 理事選挙について・・・・・・・・・・・・・資料 5  
射場委員長より、資料 5 に沿って理事選挙について説明があった。

3) 2025 年度 新体制の役員交代スケジュールについて（登記まで）・・・・ 資料 6  
射場委員長より、資料 6 に沿って理事選挙のスケジュールに関する説明があった。

4) 2025 年度名誉会員について  
片岡理事長より、2025 年度は名誉会員の該当者はなしとの説明があった。

## 6 その他

1) 周年事業の報告・・・・・・・・・・・・・資料 7  
亀井委員長より、本件は事業報告で報告した内容と同様である旨の発言があった。片岡理事長より、思い出の写真およびメッセージは引き続き募集中であり、ぜひお寄せいただきたいとの呼びかけがあった。

2) 第 30 回学術大会会長挨拶  
片岡理事長より、現在参加登録の受付中であるが、登録者数はまだ少ない状況にあり、周囲の方々へのお声掛けをお願いしたいとの発言があった。学会に参加された方は、引き続き 30 周年記念行事にもご参加いただけること、懇親会費は別途必要となるが、ぜひご参加いただきたいとの呼びかけがあった。

3) 第 31 回学術大会進捗報告・・・・・・・・・・・・・資料 8  
飯岡理事より、資料 8 に沿って 2026 年 9 月 26 日（土）開催予定の第 31 回学術大会の進捗報告があった。テーマは「橋をかける看護-調整力がつくる協働の未来-」である。プログラムの内容について鋭意検討を進めており、具体的に決まり次第、改めて報告する。

4) 第 32 回学術大会会長について報告  
片岡理事長より、第 32 回学術大会会長は聖路加国際大学の佐居由美氏に決定しているとの報告があった。

### 【質疑および意見交換】

亀井周年事業委員長より、2025 年度予算案▲120 万円（資料 4-②）について、今回の事業として、30 周年記念事業費が含まれ、広報委員会費も増額となり、単年度予算は昨年度より増額となっていると理解した。広報委員会も大幅な増額が見られる点について、ホームページの改訂等を予定しているのかとの質問があった。これに対し、飯岡広報委員長より、海外からのアクセスが一定数あることを踏まえ、ホームページの英語版の作成を計画しているとの説明があった。内容に変更のない常設ページに限定し、翻訳は低コストで対応可能な翻訳会社に依頼することで、必要最小限の費用にて作成する計画であり、本件は前回の理事会において承認済みである旨の説明がなされた。

亀井周年事業委員長より、学術集会について、次年度以降は周年事業がない中で単年度会計が赤字見込みで予算だてするのか、次年度の見通しがあれば教えてほしい旨の発言があった。これに対し、片岡理事長より、物価高騰により予算が増加しているものの支出を抑える努力をしており、今後も支出を抑制していく方針であるとの説明があった。企業展示や寄付の獲得が難しい状況にあるが、参加者に満足いただくことを優先し、寄付集めよりも参加者を増やすことで収支の均衡を図りたい。周囲への積極的な参加のお声掛けをお願いしたい。

亀井周年事業委員長より、英語版ホームページの予算としては昨今のシステム開発費の高騰からすると少額に抑えられていると発言があった。また、会費納入率が 100%に近づかない限り、様々な点で運営が難しくなるため、健全な学会会計（収入と事業支出が均衡している状態）が必要であるとの意見が出された。

林理事より、決算額が予算額を下回っている委員会もあることから、今後は過剰な予算計上がないかを見直す必要もあるとの発言があった。今回の予算案については、いずれも必要な支出として承認されている。周年事業に関しては、当初は特別会計とし別枠にする案も出ていたが、会計上、別枠を設けるのは適切でないとの判断に至った。また、当初はある程度大きな予算額でもよいので

はという意見もあったが、最終的には 100 万円を切る形で予算を切り詰めていただいた。小規模の学会であるが 2,000 万円の余剰金がある点について、一定のゆとりは必要としつつも、今後この余剰金をどのように活用していくかを検討する必要もある。学会誌編集委員会については、今年度は 30 周年事業の編集・作成の費用が計上されているが、次年度は当該費用がなくなるため、予算も変動する見込みである。

最後に、片岡理事長より、今後も随時、意見や助言を寄せていただきたいとの呼びかけがあり、限られた予算ではあるが、充実した活発な活動を展開していきたいとの発言があった。

以上

【配布資料】

- 資料 1 : 2024 年度事業報告
- 資料 2 : 第 30 回学術大会進捗報告
- 資料 3-① : 2024 年 3 月期決算書
- 資料 3-② : 2024 年度決算報告書 (全体)
- 資料 3-③ : 2024 年度決算報告書 (部門別)
- 資料 3-④ : 2024 年度監査報告書
- 資料 4-① : 2025 年度事業計画 (案)
- 資料 4-② : 2025 年度予算書 (全体)
- 資料 4-③ : 2025 年度予算書 (部門別)
- 資料 5 : 2025 年度 理事選挙について
- 資料 6 : 役員交代スケジュールについて
- 資料 7 : 周年事業報告
- 資料 8 : 第 31 回聖路加看護学会学術大会ご案内

会員総会 日時 : 2025 年 9 月 27 日 (土) 8 : 30 ~ 8 : 50

場所 : 聖路加国際大学 ★第 30 回学術大会の開催日に 30 分程度